

おさんぽマップ

園内は紅葉に彩られ、小動物が遊ぶ木の実がたくさん見られます。冬の寒さ到来の前に、色鮮やかな紅葉の中のおさんぽをお楽しみください。

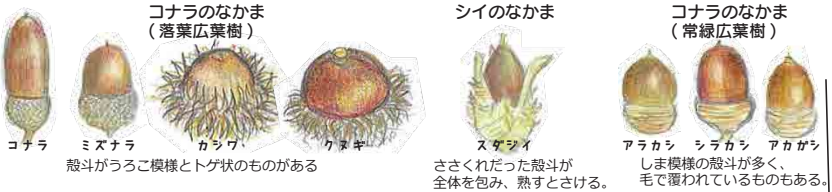


園内の植物を「食べる」「持ち帰る」はご遠慮ください



どんぐり

ブナ科の木になる実の総称が「どんぐり」です。コナラ、クヌギ、スタジイ、アラカシなど。種類によって形や大きさは様々ですが、帽子や袴と言われる「殻斗(かくと)」を見ると、どの種類か区別するヒントになります。



①モミジバフウ (フウ科)

大きな葉はモミジに似た形で、緑色から黄色、オレンジ色に紅葉します。吊り下がった丸くトゲトゲした集合果も緑色からさび色に変わり中にはたくさんの小さな種子が入っています。



②イイギリ (ヤナギ科)

樹形がキリに似ていることや、大きな葉で昔はご飯(おこわ)を包んでいたことから「飯桐」と名付けられました。赤い果実はブドウの房のように垂れ下がり、落葉した後も残ります。

③カツラ (カツラ科)

ハートの形をした葉が緑色から黄色・オレンジ色に変わります。落ちて乾燥した葉は、綿菓子のような甘い香りを放ちます。



④ コマユミ (ニシキギ科)

葉や果実、樹高がマユミよりも小さいので「コマユミ」と名付けられました。モミジに並ぶ美しい紅葉樹。楕円形の赤紫色の果実は熟すと裂け、橙赤色(とうせきいろ)の仮種皮に包まれた種子が現れます。冬季でも果実は枝に残ります。

